

平成26年度進行管理・評価シート
佐川町歴史的風致維持向上計画（平成21年3月11日認定）

（最終変更平成26年3月31日）

□進捗評価シート（様式1）

①組織体制（様式1-1）

1 庁内会議及び佐川町歴史的風致維持向上計画協議会の開催	1
------------------------------	---

②重点区域における良好な景観を形成する施策（様式1-2）

1 政策との連携による今後の措置	2
------------------	---

③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項（様式1-3）

1 まちの駅活性化事業（協議会活動助成事業）	3
2 牧野公園整備事業	4
3 標識整備事業	5
4 歴史的風致建造物事業化検討調査 （竹村分家旧竹村呉服店）	6
5 歴史的風致建造物事業化検討調査 （司牡丹1号蔵）	7

④文化財の保存又は活用に関する事項（様式1-4）

1 文化財の保存・活用について	8
文化財の保存・活用に関わっている住民、NPO等各種団体について	
2 文化財の保存及び活用の普及・啓発について	9
3 文化財の防災について	10
4 埋蔵文化財の取扱いについて	11
5 文化財の修理について	12
文化財の保存・活用を行うための施設について	
文化財の周辺環境の保全について	

⑤効果・影響等に関する報道（様式1-5）

1 バイカオウレン佐川PR	13
2 富太郎ゆかりの4种植栽	13
3 牧野公園再生へ情熱	13
4 登録文化財に県内3件	13
5 富太郎ゆかりの種まく	13
6 光の切り絵 古民家彩る	13

□法定協議会等におけるコメント（様式4）

1 法定協議会等におけるコメント	14
------------------	----

評価軸①-1
組織体制

項目		評価対象年度	平成26年度
		現在の状況	
庁内会議及び佐川町歴史的風致維持向上計画協議会の開催		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	佐川町歴史的風致維持向上計画を円滑かつ着実に遂行するために、計画推進体制(事務局と審議組織との連携)を強化し、歴史的風致維持向上計画協議会の活動をサポートしていく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
円滑な事業推進を図るため、庁内会議(チーム佐川推進課、産業建設課、教育委員会事務局)を8回、佐川町歴史的風致維持向上計画協議会を1回開催した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	庁内の連携を強化し、協議会での評価・意見を実施する体制を整えるために、庁内会議(チーム佐川推進課、産業建設課、教育委員会事務局)を頻繁に開催し、円滑な事業推進に努めた。		
状況を示す写真や資料等			



庁内会議
(チーム佐川推進課、産業建設課、教育委員会事務局)

平成26年 5月 2日
 平成26年 5月16日
 平成26年 5月22日
 平成26年 5月27日
 平成26年 7月15日
 平成26年10月21日
 平成26年11月12日
 平成27年 1月16日

庁内会議の様子



佐川町歴史的風致維持向上計画協議会

第1回(平成26年9月1日)

◇報告事項

- ・佐川町歴史的風致維持向上計画の計画変更の報告
- ・竹村分家旧竹村呉服店の寄贈の報告
- ・歴史まちづくり事業の進捗状況の報告

◇協議事項

- ・歴史的風致形成建造物の指定について
- ・佐川町歴史的風致維持向上計画協議会の活動について

第1回協議会の様子

評価対象年度		平成26年度
項目		現在の状況
政策との連携による今後の措置		☐ 実施済 ☐ 実施中 ☒ 未着手
計画に記載している内容	街なみ景観条例は、平成5年度から10年間実施した街なみ環境整備事業に対応して策定したものであり、歴史的風致維持向上計画に合致した内容となっていないという問題点がある。そのため、今後においては、景観法に基づく景観計画及び景観条例の策定をめざすことにより、歴史的風致に合致した街なみ景観の維持向上を図ることとする。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
平成26年3月31日に認定を受けた変更計画で、「政策との連携による今後の措置」を新しく加えた。これにより景観計画及び景観条例の策定をめざすこととなるが、現在、本町では第5次総合計画を策定中であり、歴史まちづくり担当もその策定メンバーの一人であることからその作業に時間を割かれ、まだ具体的な作業に着手していない。総合計画が平成28年度から稼働すること、また、住民の合意形成等を考えると、平成28年度から2～3年のスパンで策定する予定である。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	住民に一定の規制が掛かることから、合意形成を図るために、ねばり強く話し合いを持つ必要がある。	
状況を示す写真や資料等		

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成26年度
		現在の状況	
まちの駅活性化事業（協議会活動助成事業）		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
事業期間	平成21年度～平成30年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）		
計画に記載している内容	住民主体によるソフト事業を実施し、重点区域を核とした歴史的風致を維持向上する活動をさらに他地域にまで広げると共に、町外にも広く発信する。また、歴史的建造物の保存・活用に向けての住民意識啓発の活動も併せて取り組むことで、竹村家住宅周辺の良好な市街地環境の形成に寄与し、佐川町の歴史的風致の維持向上を図る。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
計画変更により、計画期間が平成30年度まで延長となった。当初からデータのみで管理していた「佐川町歴史的風致維持向上計画」を、計画変更後の内容も網羅した「計画書」を冊子として、かつ、「重点区域位置図」をポスターとして印刷し、関係者、団体等に配布して、変更計画後の全体像を啓発・周知する素材とする。。「計画書」300冊。「位置図」1,000枚。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		対内外的に、周知がまだ弱く、現有の素材及び新作の素材を活用して、更に周知を図っていく。	

状況を示す写真や資料等



佐川町歴史的風致維持向上計画書



計画書 中開き



歴史的風致維持向上計画重点区域 位置図

評価軸③-2 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
牧野公園整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成21年度～平成30年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	牧野富太郎博士の顕彰を図るために、牧野公園に遊歩道の整備と博士由来または縁の深い植物並びに秋期も楽しめる紅葉樹を植栽し、憩いと学習の場として公共公益施設の高質化を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成26年度に公園内通路の舗装及び排水計画について詳細設計を実施し、改良工事に着手した。平成28年度での完了を目標として施工中。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	牧野博士に由来する植物の植栽や雨天時の利用者の安全確保の観点から、植物の生育環境の配慮や降雨時に利用しやすい公園にするため、整備には雨水対策が必要となった。その対策を検討し、遊歩道の舗装整備に反映するようにするため、事業期間を延長する。		
状況を示す写真や資料等			
   降雨時には川のように雨水が遊歩道を流れている			

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
標識整備事業		☐ 実施済 ☐ 実施中 ☒ 未着手	
事業期間	平成25年度～30年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	国道33号及びJR佐川駅から重点区域への誘導を円滑にするとともに、歴史的風致の啓発に資するために、各所に標識及び説明板を設置する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
設置場所・工法等の選定が難航し、標識及び説明版の設置に至らなかった。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない		設置場所・工法等の未決事項について、関係者協議の必要がある。事業期間を平成27年度に延長し、道路管理者及び隣接地権者を含めた関係者協議を進め、早期の事業着手・完了を目指す。	
状況を示す写真や資料等			

項目		評価対象年度	平成26年度
			現在の状況
歴史的風致建造物事業化検討調査(竹村分家旧竹村呉服店)			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成26年度～27年度		
支援事業名	※町単独事業		
計画に記載している内容	上町地区の歴史的風致建造物(竹村分家旧竹村呉服店)について、耐震対策を含めた事業化の検討を行う		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
伝統建築物調査研究業務として、委託業務を発注し、概算費用の算定を行った。平成27年度に関係者協議を実施し、事業化の検討を行う。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	改修後の利用計画について、関係者協議を行う必要がある。		
状況を示す写真や資料等			



竹村分家旧竹村呉服店



歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成26年度
			現在の状況
歴史的風致建造物事業化検討調査(司牡丹1号蔵)			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成26年度～27年度		
支援事業名	※町単独事業		
計画に記載している内容	上町地区の歴史的風致建造物(司牡丹1号蔵)について、耐震対策を含めた事業化の検討を行う		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
伝統建築物調査研究業務として、委託業務を発注し、概算費用の算定を行った。平成27年度に関係者協議を実施し、事業化の検討を行う。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		司牡丹1号蔵については、民間所有であるため、耐震化の事業費負担の問題や改修後の利用計画について、協議を行う必要がある。	
状況を示す写真や資料等			



司牡丹1号蔵



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	平成26年度
		現在の状況	
文化財の保存・活用について 文化財の保存・活用に関わっている住民、NPO等各種団体について		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	現在、文化財の保存活用に携わる団体は積極的かつ地道な活動を展開しており、まちづくり行政等との連携も十分とれている。 今後も、こうした活動の前進を更に目指し、行政との連携も一層強化する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
重点区域内に移築された名教館では、佐川が輩出した偉人のパネルの展示、歴史学講座、高知大学出前講座等を開催し文教の町佐川をPRした。また、国の登録有形文化財建造物に登録された旧浜口家住宅では、ひな祭り、演劇、音楽会等多様なイベントが開催された。 12月には、「酒蔵ロード劇場」が開催され、町内外から多数の観客が訪れた。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		NPO法人、観光協会は定期的にイベントを開催しており、集客数は増加傾向である。しかしながら町全体の文化財についてはPR不足なので、今後も観光ボランティア、観光協会と連携し、活発な情報配信と文化財の活用を図りたい。	
状況を示す写真や資料等			
 ▲秋まつりH26.10.17～10.19 旧浜口家住宅、名教館  ▲ひなまつりH27.2.21～3.8 旧浜口家住宅、名教館  ▲佐川文庫庫舎内 ギャラリーとして活用されている。  ▲こけ玉教室 H26.10.19 名教館  ▲ボサノバコンサート H26.4.6 名教館  ▲酒蔵ロード劇場 H26.12.8			

評価軸④-2

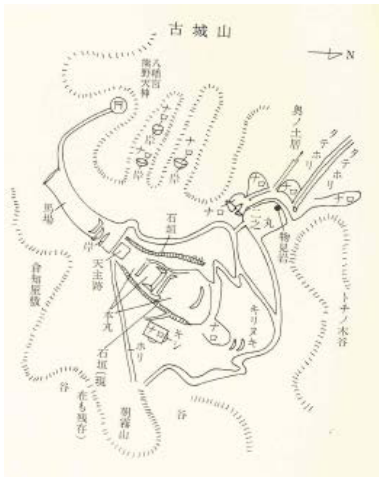
文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	平成26年度
		現在の状況	
文化財の保存及び活用の普及・啓発について		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	文化財の価値を町民がより理解し、保存や活用の意識を高めるため、学校教育では町独自の文化財教育・文化財見学会を実施し、社会教育等では文化財や町の歴史に関する教室の開催、分かりやすいパンフレットの作成による啓発活動などを行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
黒岩小学校で卒業生(高校生)も含めて、「太刀踊り子ども教室」を開催し、高知県の無形文化財である「佐川の太刀踊り」の継承に取り組んだ。他にも斗賀野小学校児童による花取踊り(町指定無形文化財)や黒岩中学校で瑞応の盆踊り(県指定無形文化財)に児童・生徒が取り組み、地域の行事などを通じて成果を披露し、地域の伝統芸能としての位置づけを高めた。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		児童生徒が積極的に参加し、無形文化財の継承に取り組んではいるが、発表の場は地域の行事に限られている。今後は、町内での伝統芸能発表会の開催や、町外のイベント等への参加を検討する必要がある。	
状況を示す写真や資料等			
 ← 「四ッ白太刀踊り」 県指定無形文化財 黒岩地区の小中高生が積極的に参加し継承に取り組んでいる。 11月3日の仁井田神社の秋の大祭に参加し、小中学校の運動会でも披露している。  ← 「白倉神社花取踊り」 町指定無形文化財 斗賀野地区の小中学生が積極的に参加し継承に取り組んでいる。 11月12日の白倉神社の秋の大祭で披露している。  ◀ 黒岩中学校では地域の人に「瑞応の盆踊り」の指導を受けている。 開催日当日(8/16)は夏休みの夜間であるため個人参加となっているが、運動会など学校行事の際に披露されている。			

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	平成26年度
		現在の状況	
文化財の防災について		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	現在も実施している所有者、地域住民、消防署、地区消防団が一体となった防火訓練も更に質量共に充実したものとしていく。加えて、「文化財防火デー」には、上記住民・団体及び文化財保護審議会委員等が各地区の文化財においての防火訓練を実施しており、今後も継続していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
重点区域内には自主防災組織が設立されており、地域の防災についての意識も高く、文化財防火デー(1月26日)には、消防署、消防団とともに防火訓練を実施した。 また、文化財パトロール(10/9、10/10、12/5)など、あらゆる機会を通じて、引き続き文化財の保存や防災の大切さについて関係者などに周知を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		南海地震の発生が予測されていることもあって、所有者や、関係者には防災について一定理解が高まっている。今後は、建造物の耐震性を高めていくことが検討課題となっている。 今後は、耐震化についても順次実施するよう検討したい。	
状況を示す写真や資料等			
▼1月26日 文化財防火デー 国重要文化財「竹村家住宅」において防火訓練を実施した。  ▲ 1月26日 文化財防火デーの防火訓練には地域住民、地元消防団、消防署、文化財保護審議会が参加し、消防署員の指導の下、地域住民による消火器での初期消火訓練、消防署への模擬通報、地元消防団による放水訓練が行われた。 また、実地訓練終了後には、文化財保護審議会委員より、文化財保護の重要性を説明し、参加者は熱心に耳を傾けた。			

項目		評価対象年度	平成26年度
		現在の状況	
埋蔵文化財の取り扱いについて		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	機会あるごとに埋蔵文化財の持つ意義や重要性及び所在地を町広報やその他の方法により広く住民に周知する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
町内の主要な埋蔵文化財については、年1回パトロールを行い保存状態を確認している。また重点区域内の佐川城跡については、平成26年10月10日に文化財保護審議会委員(巡視員)とともにパトロールを実施し、昨年度の写真の比較や、目視により保存状態に変化はないことを確認している。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		現在のところ埋蔵文化財について広く住民に周知するには至っていない。今後は町HPへの掲載や、住民向けの現地説明会等周知方法について検討したい。	
状況を示す写真や資料等			
 ◀ 石積み部分には今のところ異常はみられないが、周辺の雑木による悪影響が発生しないよう伐採を予定している。  ◀ 佐川城址見取(昭和56年佐川町発行「わが町の文化財と旧跡」より転載)			

評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		平成26年度
項目	現在の状況	
文化財の修理について 文化財の保存・活用を行うための施設について 文化財の周辺環境の保全について	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	文化財の修理及び整備については、定期的な清掃及び点検確認を行い、文化財巡視員による定期的なパトロールを実施する。 文化財の保存・活用を行うための施設は、財政状況との調整を図り、施設の改善計画を立て課題解消に向けて具体的に着手する。 文化財の周辺環境の保全については、まちづくり行政と文化財行政がより連携を強化し、文化財の周辺環境の保全を図っていくこととする。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
「旧浜口家住宅」、昨年2月移築が完了した「名教館」、佐川文庫庫舎(旧青山文庫)は、さかわ観光協会を指定管理者とし良好な状態で管理されている。 また、重点区域内の文化財の周辺環境は、地域住民やNPO法人、町観光協会により良好に保全されている。 なお、重点区域内における本年度の文化財の巡視結果において、緊急に修理の必要が生じたものはなく、良好な状態を保っている。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	現在のところ、町立施設は概ね良好な保存状態であるが、今後においては、重点区域内に現存する歴史的建造物について大規模な修繕等が生じると予測される。引き続き支援策等を検討していきたい。	
状況を示す写真や資料等		



▲ さかわ観光協会が管理する「佐川文庫庫舎」



▲ さかわ観光協会が管理する「名教館」



▲ さかわ観光協会の事務所がある「旧浜口家住宅」



▲ 重点区域の文化財周辺の環境は良好に保全されている



▲ 平成26年度～平成28年度で修復・保存を行う「旧竹村呉服店」

評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	評価対象年度	
	年月日	掲載紙等
バイカオウレン佐川PR	平成26年4月24日	高知新聞
富太郎ゆかりの4種植栽	平成26年4月26日	高知新聞
牧野公園再生へ情熱	平成26年6月12日	高知新聞
登録文化財に県内3件	平成26年11月22日	高知新聞
富太郎ゆかりの種まく	平成26年12月2日	高知新聞
光の切り絵 古民家彩る	平成26年12月6日	高知新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

地元新聞への掲載回数 6回以上。牧野公園への植栽等、牧野富太郎博士関連の記事が多かった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	重点区域の入込客数は着実に増加しているが、更に新たな取り組み等を報道してもらうことにより知名度をアップする必要がある。

状況を示す写真や資料等

登録文化財に県内3件
文化審議会
全国総計1万件超に

「溪鬼荘」「浜川商店酒蔵」「旧濱口家」

「溪鬼荘」は、明治11年に建てられ、約100年にわたる歴史を誇る。現在は、地元住民の集会所として活用されている。また、その建築様式も、県内では珍しい。このように、登録文化財は、地域の歴史や文化を伝える重要な役割を果たしている。

「浜川商店酒蔵」は、明治20年代に建てられ、当時の酒蔵の姿を今に残している。現在は、地元住民の集会所として活用されている。また、その建築様式も、県内では珍しい。このように、登録文化財は、地域の歴史や文化を伝える重要な役割を果たしている。

「旧濱口家」は、明治30年代に建てられ、当時の民家の姿を今に残している。現在は、地元住民の集会所として活用されている。また、その建築様式も、県内では珍しい。このように、登録文化財は、地域の歴史や文化を伝える重要な役割を果たしている。

牧野公園再生へ情熱
佐川町5人組植栽ファンの聖地に

「佐川町」は、牧野公園の再生事業を計画し、5人組のボランティアが、毎日公園を訪れ、花や草を植え、手入れを行っている。この活動は、公園の再生に大きく貢献している。また、その活動を通じて、地域住民の意識も高まっている。このように、ボランティアの活動は、地域の再生に重要な役割を果たしている。

「佐川町」は、牧野公園の再生事業を計画し、5人組のボランティアが、毎日公園を訪れ、花や草を植え、手入れを行っている。この活動は、公園の再生に大きく貢献している。また、その活動を通じて、地域住民の意識も高まっている。このように、ボランティアの活動は、地域の再生に重要な役割を果たしている。

光の切り絵 古民家彩る

佐川町上町地区 今夜 酒蔵ロード劇場

「佐川町」は、光の切り絵を用いて、古民家を彩る。この活動は、地域の歴史や文化を伝える重要な役割を果たしている。また、その活動を通じて、地域住民の意識も高まっている。このように、光の切り絵の活動は、地域の再生に重要な役割を果たしている。

「佐川町」は、光の切り絵を用いて、古民家を彩る。この活動は、地域の歴史や文化を伝える重要な役割を果たしている。また、その活動を通じて、地域住民の意識も高まっている。このように、光の切り絵の活動は、地域の再生に重要な役割を果たしている。

バイカオウレン佐川PR

「佐川町」は、バイカオウレンのPRを行っている。この活動は、地域の歴史や文化を伝える重要な役割を果たしている。また、その活動を通じて、地域住民の意識も高まっている。このように、バイカオウレンのPR活動は、地域の再生に重要な役割を果たしている。

「佐川町」は、バイカオウレンのPRを行っている。この活動は、地域の歴史や文化を伝える重要な役割を果たしている。また、その活動を通じて、地域住民の意識も高まっている。このように、バイカオウレンのPR活動は、地域の再生に重要な役割を果たしている。

富太郎ゆかりの種まく
富太郎ゆかりの種まく

「佐川町」は、富太郎ゆかりの種まくを行っている。この活動は、地域の歴史や文化を伝える重要な役割を果たしている。また、その活動を通じて、地域住民の意識も高まっている。このように、富太郎ゆかりの種まく活動は、地域の再生に重要な役割を果たしている。

「佐川町」は、富太郎ゆかりの種まくを行っている。この活動は、地域の歴史や文化を伝える重要な役割を果たしている。また、その活動を通じて、地域住民の意識も高まっている。このように、富太郎ゆかりの種まく活動は、地域の再生に重要な役割を果たしている。

富太郎ゆかりの4種植栽
佐川町 町民ら牧野公園に200株

「佐川町」は、富太郎ゆかりの4種植栽を行っている。この活動は、地域の歴史や文化を伝える重要な役割を果たしている。また、その活動を通じて、地域住民の意識も高まっている。このように、富太郎ゆかりの4種植栽活動は、地域の再生に重要な役割を果たしている。

「佐川町」は、富太郎ゆかりの4種植栽を行っている。この活動は、地域の歴史や文化を伝える重要な役割を果たしている。また、その活動を通じて、地域住民の意識も高まっている。このように、富太郎ゆかりの4種植栽活動は、地域の再生に重要な役割を果たしている。

法定協議会等におけるコメント

(様式4)

評価対象年度	平成26年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 平成26年度第1回佐川町歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時: 平成26年9月1日	
(コメントの概要) NPO佐川くろがねの会所属の委員より発表あり。―街なみ歩きガイドは堅調。重点区域(上町)への年間来客者数は、24年度1,339人、25年度2,986人、本年度は、4～7月で既に1,510人と確実に伸びている。NPOくろがねの会は、観光ガイド研修をしばしば開催している。重点区域(上町)の課題は、現在、大正軒(うなぎ屋)と街なみ見学のセットのツアーは大型バスを大正軒の駐車場に停めているが、その他のツアーは佐川町役場の駐車場に停めているように、大型バスが停まれる駐車場がない。それと、土産物、飲食店が少ないところだ。― これを受けて、他の委員より意見あり。―酒蔵ロード劇場、ひな祭り、街なみ模型展などのイベントも盛況。佐川文庫庫舎などを活用した写真展やコンサートもよくおこなわれている。数年前までは、花見の時期以外で大型観光バスが訪れる光景を見ることはなかったが、近年は頻繁に見かけるようになった。それに連れて、NPOくろがねの会が街なみ歩きガイドをする姿をよく見かける。土産物に関しては、最近、さかわ観光協会(旧浜口家住宅内)を中心として何人かの生産者が工夫を凝らしたおしゃれな品物を開発しており、徐々にではあるが変わってきている。また、駐車場については、幾つかの候補となりうるスペースがあるが、用地交渉なども絡んでくるので、当面は役場の駐車場で対応するしかないのでは。―	
(今後の対応方針)	